



TITLE:

諾威ノ海運(一)

AUTHOR(S):

小島, 昌太郎

CITATION:

小島, 昌太郎. 諾威ノ海運(一). 經濟論叢 1918, 6(5): 665-674

ISSUE DATE:

1918-05-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127377>

RIGHT:

京都帝國大學法學科大學

經濟論叢

第六卷 第五號

大正七年五月一日發行

論說

生産政策力分配政策力……………法學博士 河上 肇

所得稅^{ニ於ケル}所得ノ統一課稅^(一)……………法學博士 神戸 正雄

德川時代^{ニ於ケル}封建的都市ノ發達……………法學博士 瀧本 誠一

經濟的行爲^ト道德的行爲^トノ關係^(五)……………法學博士 田島 錦治

諾威ノ海運^(二)……………法學士 小島 昌太郎

露國^{ニ於ケル}まゝ^一るく^テ說ノ發達^(二)…………… 米田 庄太郎

我國^{ニ於ケル}營利心ノ起源及發達^(四、完)……………文學士 銅 直 勇

時事問題

日用品市場ニ就テ……………法學博士 戸田 海市

雜 錄

南露^{ニ於ケル}獨逸住民^(二)……………文學士 長 壽 吉

續獨逸經濟學界近況^(三、完)…………… 米田 庄太郎

大阪市^{ニ於ケル}窮民ノ家計^(二、完)……………法學士 櫛田 民藏

帝國統一後ノ獨逸ノ植民の活動^(三、完)…………… 山本 美越乃

米國ノ戰時租稅法^(三、完)……………在 米 阿部 賢一

諾威ノ海運(二)

小島昌太郎

世界ノ主要海運國トシテ知ラルルモノハ、何レモ自國ニ盛大ナル工業ヲ有シ、國際貿易上ニ於テモ亦重キナナス國デアアル。然ルニ獨リ諾威ハ自國ニ殆ト言フニ足ルノ工業ヲ有セズ、其實易額ニ於テモ列國中甚タ低キ地位ニ在ルニ拘ハラズ、國際航運界ニ重キナシテ、世界主要海運國ノ一タル地位ヲ占メテ弗ル。斯クノ如キハ他ノ海運國ト大ニ趣キヲ異ニスル所ニシテ、同國ノ海運ハ他國ノソレニ比シ必ズヤ何等カ特異ノ點アルベキヲ思ハシム。故ニ、此ニ近時ニ於ケル諾威ノ海運情況ヲ概説スルニ當リ又些カ此點ヲ明ナラシメンコトヲ欲シタレドモ、同國船主ノ海運經營方法ニ關スル參考資料一モ獲ル得ハザリシカ故ニ只僅ニ他國ト統計上ノ比較ヲナシ得タルニ止マリ、此最モ肝要ナル部分ニ付キテ殆ト何等ノ説明ヲナシ得ザルハ甚ダ遺憾トスル所デアアル。

第一 戰亂前ノ諾威海運

一 諾威ハ國土面積十二萬四千餘方哩ヲ有スレドモ其中不生産的地積七一%、森林二四%ヲ占メ、農業牧畜業及其他ノ生産業ニ利用シ得ル地積ハ僅ニ五%ニ過ギナイ。然ルニ同國近海ハ世界有數ノ漁場ナルニヨリ、國民ノ多數ハ古クヨリ漁業ニ從事シ海洋ノ產物ヲ以テ陸上資源ノ不足ヲ補フテオツタ。元來、同國ノ如ク陸上ニ於ケル生活領域ノ狹小ナル國ニアリテハ、民族ノ發展ト國民生活基礎ノ保全ノ爲メ、海外ニ殖民地ヲ獲得スルガ普通ナレドモ、諾威ニアリテハ海外ニ殖民地ヲ

獲得スルニハ國力ガ餘リニ微弱デアル。故ニ彼等ハ生活領域擴張ノ道ヲ他ノ大陸ニ求メズシテ、海洋上ニ求ムルニ至ツタ。サレバ近世國際間ノ貿易發達シテ海洋上ニ貨物移動ノ盛ナルニ及ビ、彼等ハ漁業ニヨリ習熟シタル航海術ヲ利用シテ各國間ノ貨物輸送ニ從事シ、之ヨリ獲ル所ノ收入ヲ以テ主タル國民所得トナス様ニナツタノデアル。而シテ彼等ハ小型船ノ繰繰ニ熟シ海上生活ニ慣レテ殆ト海洋ヲ危險視セザルガ故ニ、海運的活動ヲナスニ當リテモ常ニ各國ヨリ安價ニテ古船ヲ買入レ比較的安キ運賃ニテ他國船ト競争シ、遂ニ世界至ル所ノ港灣ニ出入スルニ至ツタ。之レ同國ガ自國ニ盛大ナル工業ヲ有セズシテ、而モ主要海運國ノ列ニ連ルニ至リタル所以デアル。

右ノ如ク諸威船ハ世界至ル所ノ海洋ニ活動シ、各國港灣出入船統計ニ『諸威船』ナル項目ヲ見ザルモノ殆ド之ナキノ有様ナレドモ、彼國海運業者ハ直接ニ荷主ト接觸ヲ保チテ海運企業ヲ營ムモノ甚タ少ク、其多クハ外國ぶろおかめノ手ヲ通シテ、外國海運企業者ノ備船要求ニ應ジ、以テ備船料收入ヲ獲ルヲ主タル營業トナスノデアル。而シテ戰前ニ於テハ倫敦ぶろおかめヲ通ジテ、英米ノ會社ニ備船セラレ南北米航路ニ從事スルモノ甚タ多カリシト云フ。故ニ諸威ニ於テハ船舶所有者甚タ多キニ拘ハラズ、眞ノ意味ニ於ケル海運企業ハ極メテ少シト云ハナケレバナラス。殊ニ彼國ニ於テハ小資本ヲ有スルモノモ之ヲ船舶ニ投下スルノ風盛ナルガ故ニ、船舶ノ共有者甚タ多ク、之等ノ共有者并ヒニ單獨船主モ亦、船主タルト同時ニ船長トシテ所有船ニ乗組ミ、船ヲ家トシテ生活スルモノ少クナイ。之レ他ノ國ニ於ケルト大ニ趣キヲ異ニスル所デアル。

二 緒テ之ヨリ戰前ニ於ケル同國ノ海運狀態ニ就キ概説スルニ當リ、先ツ海運國トシテノ同國ノ

地位ヲ明ニセンガ爲メ、ろいど船名錄及ヒ我管船局調査ニ基キ戰前一九一四年(大正三年)七月ニ於ケル主要海運國ノ船舶統計ヲ示セバ次ノ如クデアル。

表中ノ汽船ハ總噸數百噸以上、帆船ハ登簿噸數四百噸以上、噸數百噸以上、但シ日本帆船ハ登簿噸數四百噸以上。

	汽		帆船		合計	
	船數	噸數	船數	噸數	船數	噸數
世界總計	2,282,434	22,433,387	6,196	25,684,422	2,288,630	22,459,071
英 利 ₁₎	1,071,111	10,511,403	1,304	511,140	1,072,415	11,022,543
獨 逸	2,020	21,122,410	238	23,264,820	2,022	21,124,678
北 米 合 衆 國	1,174	2,410,028	1,214	1,066,118	1,175	2,411,242
諸 威	1,288	1,284,888	222	2,222,222	1,290	1,287,110
佛 蘭 西	1,000	1,233,268	221	2,222,222	1,001	1,235,490
日 本	1,101	1,008,888	2	2,222,222	1,103	1,011,110
伊 太 利	677	1,200,222	221	2,222,222	679	1,202,444

由之觀之、諾威ハ汽船帆船合計噸數ノ上ニ於テハ世界全數ノ五・一%強ヲ占メテ第四位ニ在レ

ドモ、單ニ帆船噸數ニ就キテノミ見レバ、全數ノ一五%強ヲ占メテ第二位ニ在リ、世界最大海運國タル英吉利ヨリモ上位ヲ占メテキル。

北歐ノ一小國ニアリナガラ、斯クノ如ク世國主要海運國ノ一タル地位ヲ占ムル諾威ニアリテハ海運業ハ實ニ其國民經濟ニトリテ最モ主要ナル産業デアル。Knudsenノ調査ニヨレバ現時ニ於ケル同國船舶價額ノ總計ハ十億くらゐなニシテ全國富ノ約六分一二當リ、且ツ海運業ニヨリテ衣食スルモノ全人口ノ約二割ヲ占ムト云フ。又同國ハ輸入超過國ニシテ戰前ニ於テハ其超過額約一億八千萬くらゐなナルヲ常トシタリシガ、其海運ヨリ獲ル收入ハ同國統計局調査ニヨレバ一九一〇

- 1) 殖民地ヲ含ム
- 2) 1 Kroner=0.5376 yen

年ニハ一億四千萬くらゐな、一九一一年ニハ一億六千一百萬くらゐなニ達シテキル。若シ果シテ然ラバ、同國輸出入ノ決濟ハ殆ト之ヲ海運收入ニヨリテナシテ居ルト言ツテヨイ。

三 次ニ戰前ニ於ケル同國海運業發達ノ有様ヲ知ランガ爲メニ一八九〇年七月ヨリ、一九一四年七月ニ至ル二十五ケ年間ノ船舶統計ヲ見ルニ次ノ如クデアル。

汽船ハ總噸數百噸以上、帆船ハ登總噸數百噸以上、

年次	汽船		帆船		合計	
	船數	噸數	船數	噸數	船數	噸數
一八九〇	五九五	335,567	二,九七四	1,237,565	三,五二九	1,573,132
一八九一	八〇〇	328,423	一,七五五	856,132	二,五五五	1,184,555
一八九二	一,〇〇五	1,001,333	一,一四四	624,883	二,一四九	1,626,216
一八九三	一,一〇〇	1,123,400	七三三	352,133	一,八三三	1,475,533
一八九四	一,一〇〇	1,123,400	六七五	326,133	一,七七五	1,449,533
一九一〇	一,一〇〇	1,123,400	六七五	326,133	一,七七五	1,449,533
一九一一年	一,一〇〇	1,123,400	六七五	326,133	一,七七五	1,449,533
一九一二年	一,一〇〇	1,123,400	六七五	326,133	一,七七五	1,449,533
一九一三年	一,一〇〇	1,123,400	六七五	326,133	一,七七五	1,449,533
一九一四年	一,一〇〇	1,123,400	六七五	326,133	一,七七五	1,449,533

右ノ統計ニヨリテ、戰前二十五年間ノ趨勢ヲ概觀スルニ、同國ハ帆船ニ於テ七九〇、三二七噸即チ一八九〇年ノ凡ソ五九%ヲ減少シタレドモ、汽船噸數ハ逐年増加シテ右ノ期間ニ一、七一〇、六八四噸、即チ凡ソ六九五%ノ大増加ヲナシタルガ故ニ、汽船帆船合計噸數ニ於テハ九二〇、三五七噸即チ凡ソ五八%ヲ増加シ逐年増加ノ趨勢ニアル。今一八九〇年ニ於ケル汽船帆船ノ合計噸數ヲ基數トシテ、各年ノ係數ヲ前掲ノ統計ヨリ算出スレバ、次ノ如ニシテ同國海運ガ逐年著シク發達シツツアルヲ知ル。

一八九〇年 一九〇〇年 一九〇五年 一九一〇年 一九一一年 一九一二年 一九一三年 一九一四年
 100 104 111 117 116 144 155 158

而シテ同國ニ於ケル帆船ノ減少ハ、右ノ如ク、前掲ノ期間ニ於テ五九%ニ達シタリト雖モ、其減少ハ主トシテ一八九〇年ヨリ一九一〇年ニ至ル二十年間ニ生ジタモノデ、一九一〇年以後ハ極メテ僅少ノ程度ニ止ル。今試ミニ世界全體及ヒ主要海運國ニ於ケル、一九一〇年ヨリ一九一四年ニ至ル帆船噸數ノ統計ヲ擧クレバ次ノ通デアル。(ろいど船名錄ニ據ル)

世界總計 一九一〇年 一九一一年 一九一二年 一九一三年 一九一四年
 英吉利 四、八四〇、〇〇〇 四、三六五、〇〇〇 四、〇一七、〇〇〇 三、八九七、〇〇〇 三、六六八、〇〇〇
 北米合衆國 一、三三二、〇〇〇 一、三三六、〇〇〇 一、三三六、〇〇〇 一、三三六、〇〇〇 一、三三六、〇〇〇
 獨逸 五七五、〇〇〇 五七五、〇〇〇 五七五、〇〇〇 五七五、〇〇〇 五七五、〇〇〇
 諸國 五九四、〇〇〇 五九四、〇〇〇 五九四、〇〇〇 五九四、〇〇〇 五九四、〇〇〇
 佛蘭西 五九四、〇〇〇 五九四、〇〇〇 五九四、〇〇〇 五九四、〇〇〇 五九四、〇〇〇
 伊太利 五九四、〇〇〇 五九四、〇〇〇 五九四、〇〇〇 五九四、〇〇〇 五九四、〇〇〇

是ニ由レバ、帆船ハ世界ノニ著シク漸減ノ傾向ヲ示シ、諸威モ亦此大勢ニ漏レズト雖モ而モ其減少ノ傾向ハ累進的ニアラズシテ一進一退ノ狀勢ニアリ、且ツ其減少率ハ他ノ諸國ニ比シテ甚ダ少キヲ知ルデアラワ。試ニ右ノ期間ニ於ケル前掲諸國ノ帆船減少噸數、及ヒソノ一九一〇年ニ對スル減少率ヲ示セバ次ノ通デアル。

世界總計	一九一〇—一四年間ノ帆船減少噸數	同上減少噸數ノ一九一〇年ニ對スル比率
英吉利	九三、七五九	二〇・二%
諸威	四一、八二四	七・六%

北米合衆國	一三、四八	五、七%	佛 蘭 西	三、九三	八、五%
獨 逸	四、二二	三、二%	伊 太 利	三、二七	三、六%

四 更ニ一九一四年ニ於ケル、汽船帆船ノ比率ヲ世界全體及ヒ主要海運國ニ付イテ見ルニ、諾威ハ帆船ノ汽船ニ對スル比率ニ於テ世界中第一位ヲ占メテキル。即チ其比率左ノ如シ。

世界總計	汽 船	帆 船	汽 船	帆 船
英 吉 利	三、五%	七、五%	諾 威	六、二%
獨 逸	三、五%	二、五%	佛 蘭 西	三、九%
北米合衆國	四、一%	五、九%	日 本	三、八%
	六、七%	一、三%	伊 太 利	三、七%
				一、四%

諾威一國ニ就キテ見レバ、汽船ハ帆船ノ三倍半以上ノ噸數ヲ有シ、其海運力ノ主要部分ヲ構成スト雖モ、近年帆船減少率ノ他國ニ比シテ著シク小ナルト、帆船ノ汽船ニ對スル割合ガ他國ニ比シテ著シク大ナルトノ二點ニヨリテ、該國海運業者ハ他國ノ海運業者ヨリモ比較的帆船ニ重キヲ置クコトガ分ル。

五 次ニ諾威海運ノ特色ハ白國輸出入貿易ニ從事スル船舶ノ甚タ少クシテ、諸外國間ノ航海ニ從事スルモノノ甚タ多キコトデアル。今一九一四年ノ同國港灣出入船統計ヲ見ルニ、諾威船ニシテ入港セルモノ三、二〇〇、三〇八噸、出港セルモノ三、一四七、七二〇噸ニシテ平均三、一七四、〇一四噸デアル。之ヲ同年現在ノ該國船舶二、五〇四、七二二噸ニ對シ其歸港率ヲ見ルニ一二七%ニ當ル。今試ミニ、船舶全數ノ三分ノ二ハ不定航路船(Tamps)ヨリナルト稱セラルル英國ノ狀態ヲ見ルニ、同年英國港灣(Ports of the United Kingdom)ニ入港セル自國船ハ四〇、三三七、〇〇〇

噸、出港セルモノ三八、三〇三、〇〇〇噸ニシテ其平均噸數ノ同年英船總噸數ニ對スル比率ハ、一八七%デアアル。是ニ由リテ見レバ諾威船ノ自國港灣ニ出入スルノ率ハ英國ノソレヨリモ遙ニ少ク、以テ諾威船ノ主トシテ諸外國間ノ航海ニ從事セルモノナルコトヲ知ルニ足ルデアラウ。

六 右ニ述ブルガ如ク諾威船ハ主トシテ諸外國間ノ航海ニ從事シ、貨物ヲ求メテ世界到ル所ノ港灣ニ轉々スルノデアアルカラ、其船型概シテ少サク、二千噸以上ノモノハ甚タ小數デアアル。一九一二年ニ於ケル同國船舶內譯ハ次ノ如クデアアル。

總噸數	帆船		發動機船		汽船		合計	
	船數	噸數	船數	噸數	船數	噸數	船數	噸數
總噸數一〇〇噸以下	101	2,267	13	2,267	101	2,267	101	2,267
同 一〇〇—一五〇噸	104	2,267	8	1,121	104	2,267	104	2,267
同 一五〇—二〇〇噸	124	2,267	—	—	124	2,267	124	2,267
同 二〇〇—二五〇噸	220	2,267	—	—	220	2,267	220	2,267
同 二五〇—三〇〇噸以上	8	2,267	—	—	8	2,267	8	2,267
計	1,110	2,267	13	2,267	1,110	2,267	1,110	2,267

更ニ一九一四年船舶統計(ろいど船名錄)ニ基キ、世界全體及ビ主要海運國ニ於ケル一百噸以上ノ船舶一隻當リ平均噸數ヲ算出スルニ左表ノ如クニシテ、諾威船最低位ニ在リ、前掲表ト共ニ該國ニハ他國ヨリモ小型船多キコトガ分ル。

一九一四年	世界總計	獨逸	英吉利	北米合衆國	日本	佛蘭西	伊太利	諾威
船舶一隻當リ	1,218	3,261	1,218	1,218	1,218	1,218	1,218	1,218
平均噸數	1,218	3,261	1,218	1,218	1,218	1,218	1,218	1,218

七 近來各國ノ海運企業ハ、他ノ産業ニ於ケルト均シク、益々大經營トナル傾キアリテ、一海運會社ニシテ數百萬噸ヲ有スルモノモ少クハナイ。一九一三年一月ノ調査ニ據ルニ、一會社ニシテ合計二十萬噸以上ヲ有スルモノ世界ニ三十社アリテ、其中英本國十七社、獨逸七社、佛蘭西二社、日本・澳洪國・和蘭・加奈陀各一社ヲ有シ、就中、英國ハ此十七社ニテ六、〇八〇、〇〇〇噸ヲ有シ同國全噸數ノ三分一ヲ占メ、獨逸ハ此七社ニテ三、五一〇、〇〇〇噸ヲ有シ同國全噸數ノ四分三ヲ占ムルノ狀態デアル。然ルニ諸威ハ船舶噸數ノ上ニ於テハ世界第四ニ位スルニ拘ハラズ、一社ニシテ十萬噸以上ヲ有スル會社一ツモ存在シナイ。一九一三年一月ノ調査ニヨレバ、一萬噸以上ノ船主諸威ニ三十四アレドモ、其中、八萬噸臺ノモノ只一ニシテ、他ハ皆四萬噸以下デアル。而シテ此三十四船主ノ所有噸數ヲ合計スルモ、約六十六萬噸ニシテ、同年ニ於ケル同國全噸數ノ四分一ヲ占ムルニ過ギズ。以テ如何ニ同國ニハ小船主多クシテ、且ツ海運經營ノ規模小ナルカヲ見ルニ足ルデアラウ。今同國船主ノ中總計二萬五千噸以上ノ持船ヲ有スルモノヲ擧クレバ次ノ六者デアル。

船主名	船數	噸數(純)	船主名	船數	噸數(純)
Wilhelmson, W.	12	111,100	Olsen, F.	12	111,100
Klavens, A. F. & Co.	10	107,100	Brusgaard, K.	12	107,100
Grefstad & Herlofson	10	107,100	Stray, S. O. & Co.	12	107,100

ハ 諸威ノ海運ガ右述ブルガ如ク概シテ小型船ニヨリテ行ハレ、且ツ其海運企業モ亦甚ダ小規模ナルハ前述ノ如ク、同國船主ハ主トシテ貨物船ヲ以テ不定航路ノ運輸ニ從事シ、殊ニ他國海運業者ニ備船セラルルヲ以テ營業トスルモノ多ク、遠洋定期航路ヲ經營シ旅客運輸ヲ營ムモノ少キニ由ル。今一九一二年一月ニ於ケル同國船舶ノ内譯ヲ見ルニ次ノ如クニシテ、客船ハ噸數ニ於テ貨

物船ノ約二十分一ニ當ルニ過キズ而モソノ多クハ内國沿岸航路ニ從事スルモノデアル。

貨物船	船數	噸數	汽船	船數	噸數	合計	噸數
客船	36	2,611	3	113	13,100	21,374	21,374
合計	39	2,614	3	116	13,100	21,374	21,374

乍併諾威ニ於テモ、他國海運業者ガ盛ニ遠洋定期航路ヲ經營スルニ鑑ミ、近來ニ至リ此方面ニ活動ヲ開始スルモノヲ生ジタ。一九一三—一四年度ノ同國豫算ニヨレバ國庫ノ補助ヲ受ケテ經營セラルル同國ノ定期遠洋航路ハ(一)くりすちあんずさんどーふれでりつくすはあふん線、(二)ごろんたいむーべるげんーにうかつする線、(三)諾威ー西班牙ー葡萄牙ー伊太利線、(四)諾威ー玖馬ー墨西哥線、(五)諾威ー北米線ノ五ツデアル。

九 次ニ諾威ノ造船業ニ就イテ見ルニ、一九〇〇年以來次第ニ其造船噸數ヲ増加シ、一九〇六年ニ至ツテハ同國造船史上ノ最高點ニ達シ、約一ケ年六萬噸ノ進水ヲ見、後二年間ハ約五萬噸ノ造船量ヲ示シタガ、一九〇九年ニハ俄然減少シテ最高年度ノ約半數即チ三萬一千噸ニ下ツタ。併シンレヨリ以後、戰亂勃發前年ノ一九一三年度ニ至ル迄ハ又順次増加ノ傾向ニアル。一九〇一年以後戰前迄ノ同國造船噸數及噸數ヲ示セバ左ノ如シ。

汽船	船數	噸數	汽船	船數	噸數	合計	噸數
帆船	1	36	3	113	13,100	21,374	21,374
合計	1	36	3	116	13,100	21,374	21,374

更ニ國際的比較ニ於テ、諾威造船業ハ其最盛時ノ一九〇六年ニハ英米獨ノ次ニ位シテ第四位ヲ占メタレドモ、一九一〇年ニハ第七位ニ下リ、戰亂前年ノ一九一三年ニハ更ニ第八位ニ下ツタ。諾威ニ於ケル主ナル造船所及ヒソノ一九一二年ニ於ケル造船成績ヲ示セバ次ノ如シ。

名	種	船數	噸數	名	種	船數	噸數
Akers mekaniske Vaerksted	...	10	10,000	Laxevaags Maskin & Jernskibsbyggeri	...	10	10,000
Bjergens mekaniske Vaerksted	...	10	10,000	Nylands Vaerksted	...	10	10,000
Fredrikstad mekaniske Vaerksted	...	10	10,000	Porsgrund mekaniske Vaerksted	...	10	10,000
Sorlands Jernskibsbyggeri	...	10	10,000	Stavanger Stoberi & Dok	...	10	10,000
Kaldnes Patenship & mekaniske Vaerksted	...	10	10,000	Thondhjems mekaniske Vaerksted	...	10	10,000

一〇 同國海運業者ノ多クハ既ニ述ベタルガ如ク、外國ヨリ比較的安價ニテ古船ヲ買入レ、之ヲ利巧ニ運用スルヲ特色トスルモノデアル。從ツテ年々外國古船ノ輸入ハ著シキ高ニ上ル。例ヘバ一九一一年ニ英國ヨリ買入レタル古船ノ隻數ハ一百隻ニ達シ、其噸數十六萬五千餘噸ニシテ、同年ニ於ケル自國造船噸數ノ約四倍半ニ當ル。又新造船ニテモ一千噸級以上ノモノハ概ネ外國造船所ニ注文シ、自國造船所ノ作ルモノハ主トシテ小型船デアル。今試ミニ、ろいど船名錄ニ掲クル各國造船統計ヲ基礎トシ、一九一三年ニ於ケル世界主要造船國ノ建造船舶一隻平均噸數ヲ算出スルニ、左ノ如クニシテ、諾威ハ他國ニ比シテ著シク小ナルヲ見ル。

佛蘭西	澳洪國	獨逸	英吉利 (殖民地共)	北米合 衆國	伊太利	日本	和蘭及 白耳義	諾威
1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100

前ニ述ベタルガ如ク、諾威海運界ニ於テハ他國ヨリモ比較的帆船ニ重ラ置イテキルガ、而モソノ帆船ハ殆ト總テ英國其他ヨリ買入ルノデアツテ、自國ニ於テ建造スルモノ甚タ僅デアル。前掲同國造船統計ニ據レバ戰前ノ五年間ニ自國ニ於テ作りタル帆船ハ僅ニ六隻ニ過ギナイ。